



THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日 産 工 業 新 聞

2018年(平成30年)

6月13日 水曜日

第19446号

発行所 日産建設工業新聞社
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10
電話03(3433)7151 http://www.decn.co.jp/
◎日産建設工業新聞社 2018
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10
電話03-3433-7151 mail-ed@decn.co.jp
電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp
電話03-3433-7154 eiyo@decn.co.jp

明治以前、日本には現在各地で見られるコンクリートダム様のダムはなかった。明治以前は香川県、兵庫県、大阪府、奈良県内等で多く築造されてきた。農業用ため池・土堰堤アースダムである。現在のコンクリートダムの基のような石積ダム・メンソリーダムが造られたのは全て明治以降である。

明治維新150年と治水の歴史

竹林 征三

〈15〉水環境保全から始まった近代日本のダム

河内高部ダム・低部ダムの。(長崎)、本庄ダム(呉)、米田テネシー川流域開発布引五本松ダム(神戸)な公社(TVA)による発電などであった。1887(明治20)年にヘンリー・スペンサー・パーマーやウィリアム・バルトン等により計画され、吉村長策、佐野藤次郎等の設計により内3ダムはコンクリートダムとして施工された。

その理由は、883(明治16)年にドイツの医師ロベルト・コッホによって発見されたコレラ菌だった。水系感染症であるコレラ菌の対策としては、清浄な飲料水を利用するしかなく、東京をはじめ横浜、兵庫、長崎、函館など軍港等の近代化水道施設の早期整備が求められた。その水源として、その後、超高圧送電による送電ロスをはほとんどなくすることに成功して木曾川筋の水力発電が始まった。

日本ダムの歴史は、江戸時代の農業用ダムから始まり、水道専用ダム、水力発電ダム時代を経て河川総合開発による多目的ダムへと進展してきた。その後の治水ダム制度は画期的である。沿川の開発が進み堤防による引堤よりも経済性に優位性がある所が多くなってきた。

治水ダムは洪水調節と不特定・河川維持用水の補給に特化したダムであり、小規模なものが多かったが、新潟の加治川ダムや胎内川ダムなど大規模なものも建設されるようになっていく。1967(昭和42)年に治水ダム制度ができ、全国で200以上の治水ダムが建設された。

ところが近年、ダムが環境破壊の元凶にされてしまいが世の風潮となってしまう。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。

明治維新とともに怒濤(どとつ)の如く西欧の諸文明がわが国に入ってきた。同時に厄介なものが日本へ持ち込まれることにもなる。最大の厄介ものがコレラ菌だった。

1877(明治10)年の日本人口は3567万人。感染症は何度か大まん延し、1877年から10年間に全国で82万人が患い、37万人が亡くなった。これは日清・日露戦争による戦死

者を上回る。その原因は、1883(明治16)年にドイツの医師ロベルト・コッホによって発見されたコレラ菌だった。水系感染症であるコレラ菌の対策としては、清浄な飲料水を利用するしかなく、東京をはじめ横浜、兵庫、長崎、函館など軍港等の近代化水道施設の早期整備が求められた。その水源として、その後、超高圧送電による送電ロスをはほとんどなくすることに成功して木曾川筋の水力発電が始まった。

日本ダムの歴史は、江戸時代の農業用ダムから始まり、水道専用ダム、水力発電ダム時代を経て河川総合開発による多目的ダムへと進展してきた。その後の治水ダム制度は画期的である。沿川の開発が進み堤防による引堤よりも経済性に優位性がある所が多くなってきた。

治水ダムは洪水調節と不特定・河川維持用水の補給に特化したダムであり、小規模なものが多かったが、新潟の加治川ダムや胎内川ダムなど大規模なものも建設されるようになっていく。1967(昭和42)年に治水ダム制度ができ、全国で200以上の治水ダムが建設された。

ところが近年、ダムが環境破壊の元凶にされてしまいが世の風潮となってしまう。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。ダム貯水池の用地よりも池もあるではないかという。